

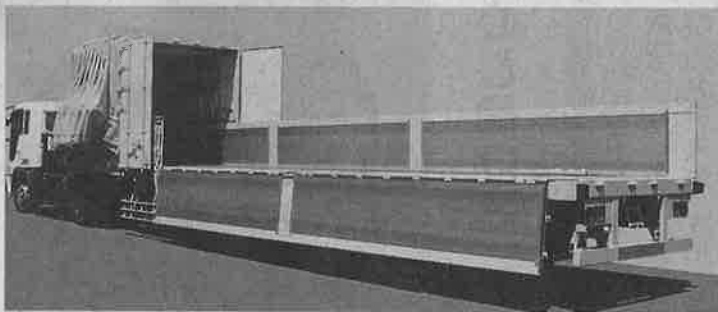
人に優しい製品・サービス

メイダイ 全開放型ホロ

「2024年問題」でドライバーの労働時間短縮や作業環境向上が求められる中、メイダイ(岡田洋一社長、愛知県豊田市)の全開放型ホロ「オープンスライダー」がドライバーの作業負担を軽減する架装として注目を集めている。

平ボディのトラックやトレーラの荷台左右のレール上に取り付けた蛇腹状の平シートをローラーでスライドさせる構造により、従来、荷台をシートで覆うために20分ほどかかっていた作業時間を減らし、5分ほどで荷台をホロで覆えるようにした。ドライバーは機器の活用により、労力と作業時間を大幅に削減でき、安全性の向上にも貢献する。後方をカーテンではなく観音式の扉に仕立てたのが特徴で、機密性の高い積み荷にも対応。空荷時は扉の門枠ごと折り畳むことがで

シート掛け作業負担減 リサイクル可能な材質



きる仕様で、後部がフラットになる。ホロの材質は、耐久性と強度を兼ね備え、リサイクルできる環境に優しい帝人のテント生地「ハリケーン」を採用した。10年の発売以降、累積販売実績は520台を超え、最近では24年問題が追い風に

なって引き合いが更に増加。メイダイでは、オープンスライダーの製造から取り付けまで全てを自社で手掛ける販売方法以外にも、ディーラーや架装工場でも取り付けられるキット販売の拡大を図り、新車架装や現行車の改造でもいち早くユーザーに届ける体制を整えた。

岡田社長は「後発の強みを生かし、操作性の良さには徹底的にこだわった。使い勝手や耐久性を含め、毎年改良を重ねてきたおかげで、導入した運送事業者からも高評価を頂いている。最近、特に労力の大きいトレーラ用がドライバーの口コミで広がってきた。今後、トトラック・ポディー業界の常識を覆す製品開発を進めていきたい」と話している。(梅本誠治)

操作性の良さにこだわった全開放型ホロ「オープンスライダー」